



教育委員会だより

PLAN THE NEXT ~Grit Global Growth~

教育委員会の今が分かる

第27号

発行日:令和4年6月22日(水)

発行人:さいたま市教育委員会



市教委掲示板

令和4年度さいたま市模擬国連に向け、キックオフミーティングを開催します

さいたま市英語教育12年間の学びの連続性

高等学校の体験的な学びの機会の充実
「さいたま市模擬国連」



グローバル社会

多様な価値観や文化との出会い

人々との協働による問題解決

さいたま市の英語教育は、12年間の学びの連続性を大切に、多様な人々とコミュニケーションを図り、協働できる英語力をはぐくんでおります。

特に、体験的な学びの機会として、小学生ではイングリッシュ・キャンプ、中学生ではニュージーランド国際交流事業、高校生ではシリコンバレーを訪問するイノベーションプログラムなどを実施し、発達段階に応じた取組を実践しております。

「さいたま市模擬国連」

今回、更なる機会の充実、発展を目指し、「さいたま市模擬国連」を実施します。幕開けとして、6月19日にキックオフミーティングを行います。キックオフミーティングでは、午前中は世界平和をテーマとし、元国連大使の大阪大学大学院・星野俊也教授による講演、高校生等と星野教授によるパネルディスカッションを、午後は模擬国連入門ワークショップを行います。

8月2日から4日にはModel UN～さいたま市模擬国連大会～を行います。

- 6月19日(日)
 - さいたま市模擬国連キックオフミーティング
- 7月15日(金)、7月22日(金)、7月29日(金)
 - Model UN オンライントレーニング
- 8月2日(火)～8月4日(木)
 - Model UN ～さいたま市模擬国連大会～

模擬国連とは

1923年にハーバード大学で始まり、その後日本でも、大学を中心に広がりました。近年、高校では部活動だけでなく、授業に位置付けて行う学校もあります。年に一度、全日本高校模擬国連大会も開催されており、市立浦和高校も参加しています。

模擬国連の活動として、まず、参加者は国を割り振られ、各国の大使になります。そして、自国の立場を踏まえた政策の立案を行い、政策を表明するため、本会議でスピーチを行ったり、他国との交渉を行ったりして、決議案を作成し、会議での議決を目指します。国際問題の解決と国益の達成を目指す、このような一連の活動を通し、生徒たちは、リサーチ力、論理的思考力など、多種多様な力を身に付けることができます。

●模擬国連の活動の流れ



さいたま市中学生英語力 3回連続 全国1位

令和4年5月18日に文部科学省より令和3年度英語教育実施状況調査の結果が公表されました。この結果は、さいたま市の英語教育に携わるすべての教職員の指導の賜物だと認識しております。今後も、更なる英語教育の推進に努めてまいります。



大宮国際中等教育学校 ディプロマ・プログラム(DP)認定!

令和4年5月13日に国際バカロレア機構が提供する世界基準の教育プログラムであるディプロマ・プログラム(DP)の認定を受けました。公立学校が国際バカロレアの中等教育プログラムであるMYP(ミドル・イヤーズ・プログラム)とDPの認定校になるのは関東圏初です。今後も、国際バカロレアのカリキュラムの研究・実践を一層進めてまいります。



不登校等児童生徒支援センター(通称:Growth)

5月23日より授業スタート!

5月開始時の申込者数は、小学生18名、中学生27名、合計45名の申込となりました。センター利用の保護者申込は、毎月20日～25日、利用開始は翌月となります。



「うらわ美術館開館22周年 芸術家たちの住むところ」を開催しています

芸術家同士の繋がりや様々なエピソード、時代状況等をたどりながら、この土地に集った芸術家たちの作品やその背景をひも解きます。ゆかり作家の作品がこの地に一堂に会する貴重な機会です。各種イベントもご用意しております。展示は2期に分かれておりますので、ぜひ前・後期両方の展示をご覧ください。



宇宙のまち「若田宇宙飛行士ミッション応援プロジェクト2022 in さいたま」さいたまに取り組みしています。

プロジェクト第1弾といたしまして、若田光一JAXA宇宙飛行士からのビデオメッセージやプラネタリウム特別番組「Challenge to the UNIVERSE～若田光一の宇宙～」の上映を行います。5月28日から企画展「天体観望展」を開催しています。若田宇宙飛行士の活躍を皆さんで応援しましょう!

教育長室の窓から

本年度より、新学習指導要領が高等学校でも全面実施となり、これで全ての校種の学校で、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組んでいくこととなりました。

さいたま市教育委員会でも、基本方針として掲げた「教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)で実現させる学びの自律と個別最適化そして探究化～一人ひとりの多様な幸せ(Well-being)を大切に作る未来の教育へ～」を目指して、様々なチャレンジを進めているところです。今号で取り上げた模擬国連の取組も、その一つです。多様性を受け入れ、世界を舞台に挑戦する主体性と創造性を養うとともに、言語や文化で異なる人と外国語で意見を述べたり、交流したりする力を育成してまいります。

編集後記



教育委員会だより第27号はいかがでしたでしょうか。今後も、定期的に各課所室から、教育委員会の今を伝える情報を発信してまいります。
【第27号編集担当】 管理部教育政策室 048-829-1626